

■■化学療法投与計画書《SOX療法》■■

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	指示医
カナ氏名	生年月日	体重	kg	
患者氏名	年齢	体表面積	m ²	

Rp)オキサリプラチン (エルプラット) 130mg/m²
TS-1 ※用量は下記参照

点滴静注 Day1 3週毎
内服(1日2回) Day1(夕)~15(朝)

※TS-1用量:体表面積に応じて調整
 <1.25m² 80mg/body /日 (20mg 4C 2×)
 1.25~1.5m² 100mg/body /日 (25mg 4C 2×)
 1.5m²< 120mg/body /日 (20mg 6C 2×)

レジメンコメント1
レジメンコメント2

本管①	生理食塩液 100mL	1	瓶

Day2~4
デカドロン錠4mg 2錠(8mg) 2× 3日間内服

側管①	パロノセトロン点滴静注	1	袋
15分	バッグ0.75mg 50mL		
	デカドロン注射液1.65mg 0.5mL	4	管

<注意すべき副作用>
 ●過敏症 ●食欲不振、吐き気
 ●手足のしびれ ●口内炎 ●下痢
 ●色素沈着 ●脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など)
 ●白血球減少 ●赤血球減少(貧血)
 ●血小板減少 ●肝機能低下

側管②	大塚糖液5% 250mL	1	袋
120分	オキサリプラチン		mg
	〈腫〉オキサリプラチン点滴静注液100mg「NK」:		
	〈腫〉オキサリプラチン点滴静注液50mg「NK」:		

生理食塩液でルート確保し終了時50mL程度フラッシュ

<実施時の注意点>

漏出時:直ちに投与を中止し、薬剤を吸引、洗浄し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。
 アルミニウムとの接触により分解するため、アルミニウムが用いられている機器は使用しないこと。
 本剤投与後数分以内の過敏症状(気管支痙攣、呼吸困難、血圧低下等)が認められた場合には、直ちに投与を中止し適切な処置を行うこと。また回復後は本剤を再投与しないこと。

<用量規制因子>

- 開始基準:好中球数≥1500、血小板数≥75000、AST・ALT施設基準上限の2.5倍以下、SCr施設基準上限の1.2倍以下、感染を疑う38℃以上の発熱がない、下痢・粘膜炎/口内炎・手足症候群Grade1以下
- 減量時 オキサリプラチン 130→100→75→50mg/m² (3回目の減量が必要になった場合オキサリプラチンを中止する)
 TS-1 120→100→80mg/日 100→80→50mg/日 80→50→40mg/日